



2011～2012年度  
R I テーマ

Reach Within to Embrace Humanity  
こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー会長 カルヤン・バネルジー (国籍・インド)

2720 地区

## 別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分  
ところ ホテルニューツルタ 〒874-0801 別府市北浜1-14-15  
TEL (0977) 22-1100 FAX 21-1019  
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F  
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000  
FAX (0977) 23-9019  
http://www.beppu4rc.jp/chuo/  
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事	亀井 孝	理事	近藤 賢司	役員	会長	亀井 孝	S A A	木村きぬゑ
〳	高宮 勝美	〳	平野 英壽	副会長	高宮 勝美	直前会長	木村きぬゑ	
〳	森 宗明	〳	津末美代子	幹事	森園 伸也			
〳	村津 忠久			会計	河村 貴雄			

VOL. 24 -10  
2011年9月13日

## 第1064回例会

会報委員長 大島由美子

◆点 鐘 12:30

◆体 操 自律神経強化体操

◆R S 別府中央R.C.の歌

◆唱 歌 赤とんぼ

◆B. G. M 「アコーディオンで綴る  
美しき愛唱歌」より  
青い山脈  
丘を越えて  
影を慕いて 他

◆ゲスト 吉田 菜美氏  
(別府溝部学園高等学校インターアクトクラブ顧問)  
安楽麻利菜さん  
(別府溝部学園高等学校インターアクト生)  
滝上 勝貴さん  
(別府溝部学園高等学校インターアクト生)

◆ビジター 早水 琢也氏 (大分中央RC)

◆出席報告 出席委員長 衛藤 秀子

本日	会員総数	25名
	出席者	19名
	事前メイクアップ	0名
	理事会承認	0名
出席	出席免除	1名
	欠席数	5名
	出席率	79.17%
前々回の訂正	出席率	79.17%
	事後メイクアップ	0名
	理事会承認	0名
	出席免除	1名
8/23	修正出席率	87.50%
	連続	-回
	通算	743回 100%

### ・メイクアップ

事前  
事後  
欠席 平野(教)、堀、栢田、梶原、河村  
出席免除 溝部

会長の時間 会長 亀井 孝

今日は“インターアクト活動報告”があります。  
別府溝部学園高等学校、インターアクトクラブ  
顧問の吉田先生、インターアクトクラブ生の安楽  
さん、滝上さん、よろしくお祈りします。

当月は新世代のための月間です。R I 会長よりの  
メッセージを読ませていただきます。

「ロータリーの兄弟・姉妹の皆さん



私たちは2011-12年度の色を持っています。そして、その色は緑です。なぜ緑なのでしょう？緑は新しい命の色、広がった枝からぱっと開く鮮やかな葉の色だからです。ロータリーにとって今が緑の時期であることには疑いありません。そして、私たちの深まりゆく青みがかった灰色から、もっと明るい色合いの緑に置き換えるのです。

全体として見てみると、40歳以下は11%に過ぎず、それに対して50歳以上が68%、60歳以上が39%です。今、私たちが手をこまねいていると、10年後、20年後、そして30年後にどのような結果をもたらすことになるかは明白です。単に、新会員を入れるだけでは十分だとは言えません。私たちには、私たちの組織に新しい生命や活力を吹き込む、より若い会員を連れてくる必要があるのです。」・・・省略。

という事で、今月中に機会があれば、新世代委員長 中尾さんにも話をさせていただきたいとおもいます。

3. 第3回定例理事・役員会報告

(平成23年9月6日(火) 13:40~)

於：ホテルニューツルタ 例会場 9名)

審議事項

- 1) 第28回別府近隣7RC親睦ソフトボール大会」参加について。※承認  
日 時 平成23年10月2日(日)  
9:00~開会式  
場 所 野口原ソフトボールグラウンド  
※参加会員をメイクアップとして承認する。  
(ロータリー親睦活動)
- 2) 米山月間(10月)に因んで「米山ランチ」実施の件。※承認  
実施日 平成23年10月4日(火)  
(※@1,000×25名=25,000)
- 3) 2011-2012年度GSE受入の件。※承認  
受入地区  
RI第6330地区(米国・カナダ)  
男性2名、女性3名  
別府市内受入期間  
10月31日(月)~11月2日(水) 3日間  
別府中央RC受入担当団員  
キャロリン ウィリアムス氏  
(女性・36歳・高等学校化学教諭)  
別府中央RC担当研修先  
溝部学園高等学校  
ホストファミリー(平野 教康会員)
- 4) 9月・10月例会予定の確認  
9月6日 「新会員卓話」  
梶原和朗・佐々木久宜・大江知巳  
各会員  
13日 「インターアクト年次大会報告」  
溝部学園高等学校IA生  
20日 「月見例会」  
於：割烹旅館 ゆめさき  
27日 「会員卓話」森 宗明会員  
10月4日 「米山奨学生卓話」  
グエン・ティ・ツイ・ユンさん  
11日 「会員卓話」中尾 誠会員  
18日 「会員卓話」梅津ヤヨイ会員  
25日 「職場例会・職業活動表彰」
- 5) その他  
○クラブ研修リーダー選出の件。※承認  
(鳴海淳郎会員を選出)

幹事報告

幹事 森園 伸也

—新世代のための月間—

1. 本日の卓話  
「インターアクト活動報告」  
別府溝部学園高等学校 安楽麻利菜さん  
〃 滝上 勝貴さん
2. 本日のゲスト  
吉田 菜美氏  
(別府溝部学園高等学校 インターアクトクラブ 顧問)  
安楽麻利菜さん  
滝上 勝貴さん  
(別府溝部学園高等学校 インターアクトクラブ生)



4. 「R I 第2720地区ローターアクト第27回年次大会」開催のお知らせ

日 時 平成23年10月 8日(土)～9日(日)

8日 14:30～受付開始

17:30 開会式

19:30～懇親会

9日 8:30～受付

9:00～メインプログラム

11:00～閉会式

場 所 大分イベントホール

(大分市南春日町12-5 ☎097-544-2020)

登録料 開会式・懇親会 5,000円

全日程参加 15,500円

登録締切 9月25日(日)

\*参加ご希望の方は幹事または事務局までお申し出下さい。

5. 委員会報告

ロータリー探究:

No.452「これからの新世代奉仕と「子供たち」

鳴海淳郎R情報委員長より

6. お祝い(次週、夜例会の為、本日2週分お祝い致します。)

会員誕生日 近藤 賢司会員(9月18日)

大島由美子会員(9月23日)

配偶者誕生日 前田れい子さん(9月17日)

中尾百合子さん(9月19日)

佐々木景子さん(9月19日)

※記念品をお渡し致します。



7. 例会変更のお知らせ

別府北RC 9月14日(水)の例会は、観月家族例会並びに会員米寿祝例会の為

同日18:00～悠彩の宿望海に時間・場所変更

大分東RC 9月22日(木)の例会は、定款第6条第1節(C)に基づき休会

大分中央RC 9月28日(水)の例会は、職場例会の為 同日12:30～(社)大分県銀行協会に場所

大分東RC 9月29日(木)の例会は、夜の例会の為 同日18:30～丸福に時間・場所変更

別府東RC 9月29日(木)の例会は、近隣6RC親睦ソフトボール壮行会」の為、9月30日(金)18:30～春香苑に日時・場所変更

大分南RC 9月30日(金)の例会は、お月見例会の為 同日18:30～大分センチュリーホテルに時間・場所変更

8. 次週の予定

「月見例会」

時間・場所を変更し、18:30～割烹旅館ゆめさきに於いて開催いたします。

9. 本日の回覧

①「月見例会」出・欠席(9月20日)

②「第28回別府近隣7RC親睦ソフトボール大会」出・欠席(10月2日)

10. 本日の配布

①週報No.1063

スマイルボックス 副委員長 平野 教康

○大分中央ロータリークラブ 早水琢也氏

本日は大分中央RCからビジターとして出席させていただきます。昨年度5月～6月、2720地区GSEチームリーダーとして米国・カナダを訪問してきました。来月10月～11月、先方地区からの訪問団を受け入れることになっています。よろしくお願ひ申し上げます。

○村津会員

先週土曜日、大分県民体育大会開会式の式典合唱隊65名の一員として参加しました。

30年前から4年に1度、別府市が主会場になる時のお務めですが、参加出来ました事に感謝してスマイル。



○鳴海会員

インターアクトクラブの皆さん、よくいらっしゃいました。お話を聞くのが楽しみで、大いにスマイルしたいと思います。

○森園会員

ゲストの別府溝部学園の皆様、ようこそ。本日の卓話、楽しみにしています。リラックスして下さい。

○衛藤会員

日中は残暑がきびしいですね。今日はインターアクトの皆様ようこそ。又、早水様大分からわざわざお越し下さりまして、どうぞごゆっくりなさって下さいませ。

○中尾会員

インターアクトクラブの吉田先生、安楽さん、滝上くん、ようこそ。

○近藤会員

本日は私の誕生日を祝っていただきありがとうございました。つい先日、帰りの飛行機の窓からまっ赤に輝く夕焼け雲の上に出た神々しい程の富士山を見ることができました。よく死ぬ前には天国の花園のような美しい光景を見ると聞いていたので覚悟を決めていましたが、無事に大分空港に降り立つ事が出来ました。皆さん、これからもよろしくお祈りします。

○大島会員

嬉しいような嬉しくないような…、でも感謝してお誕生日のお祝いありがとうございます。

○森会員

ぶたまんの販売をすることになりました。よろしくお祈りします。皆さんに少しずつですが持って来ました。

卓 話

インターアクト年次大会報告

別府溝部学園高等学校 安楽 麻利菜



今回、私は平成23年7月30・31日に湯布院青少年の家ゆふの丘プラザにて、国際ロータリー第2720地区第27回インターアクト年次大会に別府溝部学園高校の代表として参加させ

ていただきました。

年次大会では、ホスト校の別府商業高校が掲げた大会テーマ『愛～今、私たちにできること～』をもとに、大分・熊本のインターアクト生が他校の人と交流を深めるために13班のグループに分かれて活動をしました。

まず、初めに講演を行ってくださったのは別府駐屯地司令の藤岡登志樹さんでした。講演テーマは「東日本大震災・災害派遣に参加して～41連隊の気仙沼における活動～」でした。その講演の中で、今年の3月11日に起きた東日本大震災後の映像を見ました。そこにはニュースで見たものとは比べ物にならないほどの衝撃的な光景が広がっていました。道という道はなく船や車が横転し、家などは瓦礫の山と化し、津波の爪痕が大きく残されていました。

そのような状況の中で活動なさっていた自衛隊のみなさんが各班に一人ずつ入ってくださり気仙沼での活動のお話をしてくださいながらグループごとに討議をしました。私の班では「自分自身が大地震・津波などの大災害に見舞われたとき何をすべきか」「災害に備えて何をしておくべきか」「今、私たちに何ができるか」という問いに対する意見を出し合い、それを班内でまとめました。

まず、自分が被災した際は、家族の安否を気にして自宅に戻るようなことはせず、周りの人と協力して避難所へ行き、自分が無事なことを伝言板や掲示板などで家族に知らせることが重要です。さらに災害に備えてすべきことは、衣服や食料を準備しておく、家族と避難所を確認しておくという意見でまとめました。最後に、今、私たちに何

ができるのかを考え出てきた意見は「今回起きた震災から目をそらさずにしっかり見つめ、災害に遭われた方々に物資を送り、学校・個人・地域で協力して復興に貢献すること」でした。少しでも東北のみなさんの力になれるように頑張っていきたいと思いました。

次に講演を行ってくださったのは、スチッタ・グナセカラさんで、講演テーマは「スリランカ別府日本語学校」でした。スチッタさんは2010年度のロータリー米山記念奨学生であり、別府大学大学院にて日本語・日本文学を学ばれたロータリー生だそうです。さらに、スリランカの人々に日本のことを教える別府日本語学校を造り、そこで学長をされているそうです。日本とスリランカを結んで交流を行うのは大変なことだとおっしゃっていましたが、ロータリーを通して交流を深めお互いの奉仕活動に情報交換ができ、素晴らしい時間を過ごすことができたのではないかと思います。

夜には交流会が行われ、キャンプファイヤーの時には各学校が様々な出し物を披露しました。みんなで楽しめるクイズ大会や○×クイズなどがあり、周りの人と協力して答えを出すことで交流を深めることができました。その他には歌や怖い話などがありました。私の学校は、手話で「涙そうそう」と「世界に一つだけの花」を披露しました。手話は耳が聞こえない人にとってはコミュニケーションのための大切な言葉です。耳が聞こえない方とも助け合えたらいいなと思い、また、みなさんに少しでも手話を知ってもらいたいと思いこれを出し物にしました。

就寝時には他校生と学校の話をして交流を深めることができました。

最終日には、各学校の活動報告があり、表彰が行われました。どの学校もとても素晴らしい活動報告で、私の学校でも取り組みたいと思う活動が多くあり、とても勉強になりました。

最後に、アトラクションがあり、日本文理大学の「チアリーディング部」のみなさんが演技を披露してくださいました。チームワークと団結力で表現する演技は見るものに感動を与えるものでした。

今回のインターアクト年次大会で学びとった事を今後の活動に活かしていき、人と人との絆を築き上げていきたいと思えます。そして、ロータリーの心をしっかりと持ちこれからも活動していきます。

## 卓 話

### インターアクト年次大会報告

別府溝部学園高等学校 滝上 勝貴



今年の7月30・31日の二日間にわたり、「第2720地区第27回インターアクト年次大会」が湯布院青少年の家ゆふの丘プラザを会場とし、ホスト校の別府商業高校インターアクト

クラブを中心に熊本・大分のインターアクトクラブが参加し行われました。今年のテーマは『愛〜今、私たちにできること〜』です。このテーマをもとに活動を行いました。

まず最初に、講演を二つ聞きました。一つ目は自衛隊の藤岡登志樹さんによる「東日本大震災・災害派遣に参加して〜41連隊の気仙沼における活動〜」をテーマにした講演です。今年の3月11日に東日本大震災が起り、多くの方が亡くなりました。私はニュースを見ていました。ニュースでは津波の威力がわかりずらいですが、自衛隊の人の話を聞いたり、映像を見せてもらうことでごく驚かされました。ニュースとは違い迫力があり恐ろしいなと思いました。自衛隊の人の話によると、被災者たちは毎日おびえながら生活されているそうです。その話を聞き私はさみしくなりました。また、自衛隊の人たちは被災者のため頑張っているんだなと思い、感動しました。

この講演を聞き、私にできることは何かを考えました。その結果、募金活動を続けることが必要だと思いました。

一つ目の講演が終わると、あらかじめ決められていた班に一人ずつ自衛隊の方が入り、グループ討議を行いました。はじめに自己紹介をし、その後、「震災復興に向け自分たちにできることは何か」をテーマに話し合いました。各班ごとに意見をまとめ、代表者による発表を行いました。各班とも多くの意見が出てとても良い討議になりました。

二つ目の講演はスチッタ・グナセカラさんが「スリランカ別府日本語学校」をテーマに話してくだ



さいました。今回の講演でスリランカの文化を知ることができました。スリランカには様々な文化があることがわかりました。

講演の後はおいしい夕食を食べました。夕食後は外で交流会をし、キャンプファイヤーをしながら各学校で用意していた出し物を披露しました。クイズなどの出し物があり、すごく楽しめました。私たちの学校は手話をすることにしました。最初に一人一人が手話で自己紹介をし、その後、「涙そうそう」と「世界に一つだけの花」を披露しました。事前に曲を準備していたのですが、うまく流れずにアカペラで歌いながら行いました。ハプニングもありましたが、無事に成功することができたので安心しました。そして、すべてが終わり最後にはスイカ割りをして一日が終わりました。

二日目は、最初に各学校の活動報告をしました。どこの学校も自分たちならではの活動をしていて

驚きました。とても勉強になりました。その後表彰が行われ、最後にはアトラクションとして日本文理大学のチアリーディング部がパフォーマンスを披露してくださいました。すごいパフォーマンスに驚きました。息が合っていてすごかったです。パフォーマンスを見た後には実際に体験もできましたが、それもまた凄かったです。体験が終わると最後にまたパフォーマンスを披露してくださいました。

この二日間の年次大会で、団結力というものを知った気がします。これからは、ここで学んだことを活かしていきたいです。今回は表彰はされずに悔しい思いをしてしまったので、次回は表彰されるように努力していきたいです。これからもインターアクトクラブの部長としてボランティア活動に力を入れていきます。

会員コラム

梶田 健治

「モロッコ」でホームステイ

G. W. に還暦祝いとしてモロッコに一人旅をしました。その時の写真です。



麻良血腫のフナ広場の「いれ歯売り師」です。実は売っているのではなく写真撮影料で生活しています。この広場を見わたせるカフェのテラスに行こうとしたら前日にテロの爆破で吹っ飛んでなくなっていました。



アイト・ベン・ハッドウ（世界遺産）  
ここは「アラビアのローレンス」や「バベル」等のロケ地です。



サハラ砂漠の入口の町にいる日本人画家の家にホームステイ。日本人の主人は第二夫人の家にてとうとう会えずじまい。家族の一員として数日楽しく過ごしました。



砂漠の中のオアシスから歩いて町まで買い物に行くおばあちゃんと孫。